

” 静岡県教育委員会業務委託事業「いじめ・不登校実態調査及び根絶、解消支援」実施中”

2009.12.20(sun)

皆様、ご無沙汰しております。当該ページをご覧になられた方はお分かりかと思いますが、表題の事業を静岡県の緊急雇用創出プランに応募しましたところ、採択されまして、現在8名を雇いまして10日間、心理学の研修を行い、来年の3月31日まで、県内各地で「無料教育相談会」を開催し、いじめ・不登校の実態調査とその解消支援を行っております。そのため、このページも暫くお休みでした。お読み頂いている方々には大変申し訳ありませんでした。専用のホームページ <http://ijime-hutoukou.com> (すみません、もうありません。2020.8) をご覧下さい。

” 佐藤直美著「不登校・引きこもり脱出レポート」を読んで” 2009.10.5(mon)

3月下旬、ふとしたきっかけでこの冊子を見つけ、注文しました。自身のお子さんの不登校脱出の記録です。読んでいくと、私は経験した心理学からの考察と一致して大変興味深かったですね。

氏は本書でこう書かれておられます。「特に小さい子供にとっての世界は家庭が全てです。ほとんどのことは親や兄弟から学ぶしかありません。・・・もし、親が仕事で疲れ、人間関係で悩み、疲れて帰ってくるのを毎日見ていたとしたら・・・きっと子供は『外の世界ってなんてひどいところなんだろう、そんな怖いところは絶対に行きたくない』、そんな風を感じてしまうかもしれません。そして、その間違っただけの思い込みは、子供のその後の価値観に、大きな影響を与えるのではないのでしょうか。だからこそ私たち大人は、自分の人生を自分らしく楽しく生きて、『外の世界は素晴らしくて、人間もみんないい人よ、だからこれからも良い事がいっぱい起きるわよ』ということを感じさせてあげなければいけないと思うのです。」

いつだったか、本日誌でも書いた記憶があります”三つ子の魂百まで”と言います通り、子供がこの世に生をもうけてから先ずは家族から、あるいは身の回りに起こったことから人生脚本の筋書きの元が形成されます。ご存じの通り、子供が「自分は親にとって大切な存在なんだ」と感じるほどの親のたっぴりとした愛情が親子の信頼関係を築き、子供の自信を育て、他人との信頼関係を築く基礎が出来上がります。また、氏が書かれたように、家族からあるいは身の回りの様子から自身の価値観、人間観、人生観の基礎ができてきます。例えば、友達や近所付き合いが全くない親の子供は、人間関係構築の術を学ばず、当然にスムーズな”公園デビュー”を果たせないでしょう。また、ご両親とも無口で内向的な生活をしていれば、その子供もそうした生活しか学ばず同様な生活を送るでしょう。勿論、そうした観念から子供は、それぞれに感じ、それぞれに考え、それぞれに行動していくものと思います。

本ホームページで連載しております「小さな人間たちの詩」をお読みになれば気づかれると思いますが、交流合宿などで感動的な同世代の仲間達との出会いを体験すると、氏の

言葉を借りれば、『外の世界は素晴らしくて、人間もみんないい人よ、だからこれからも良い事がいっぱい起きるわよ』と言われることを実感し、不登校、引きこもりの解消に繋がっていったと思います。

” しばらく「小さな人間たちの詩」をお読み下さい。” 2009.10.1(thu)

先日のシルバーウィークの時に、色々な方々と話をしていましたら、「先生の今日のようなお話は HP かどこかに載っておりますか？」と尋ねられ、そういえば、このところこのコーナーも書いていないし、この 30 数年の様々な体験を何等かの形で残し出していけば、今後の子供たちとの対応の参考になるかも知れないと思い、暫く表題のコーナーを書き続けることにしました。そちらもお読み下さい。

” おかげさま” 2009.6.20(sat)

今朝、こんなコピーが私の机の上にあります。昨夜店で飲んだ折に誰かにもらったのだろうか？

夏が来ると、冬がいいと言う。  
冬がなると、夏がいいと言う。  
太ると痩せたいと言う。  
痩せると太りたいと言う。  
忙しいと閑になりたいと言う。  
閑になると忙しいのがいいと言う。  
自分に都合のいい人は善い人だとほめ、  
自分に都合が悪くなると悪い人だと貶す。  
借りた傘も雨が上がれば邪魔になる。  
金を持てば古びた女房が邪魔になる。  
世帯を持てば、親さえも邪魔になる。  
衣食住は昔に比べりゃ天国だが、  
上を見て不平不満に明け暮れ、  
隣を眺めては愚痴ばかり。  
どうして自分を見つめないのか。  
静かに考えてみるがよい。

一体、自分とは何なのか。  
親のおかげ。  
先生のおかげ。  
世間様のおかげのかたまりが自分ではないか。  
つまらぬ自我妄執を捨てて、

自分勝手を慎んだら、  
世の中はきっと明るくなるだろう。  
おれがおれが（我）を捨てて、  
おかげさまで  
おかげさまでと暮らしたい。

”遂に本ホームページ訪問者が 50,000 人に達する。ありがとうございます！”

2009.6.15(mon)

皆様、2000年3月に本ホームページを開設して以来、約9年と33ヶ月で訪問者が50,000人に達しました。ズブの素人作りで、ホントに拙いホームページですが、皆様にご訪問頂き、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。昨日まで霊峰富士を望みながら（の予定でしたが）1泊2日のNPO日本インターネットスクール協会(JISO)の研修会で、もしやその最中に50,000人目の方がご訪問されては、と気がかりだったのですが、昨日事務所に戻りました折に、訪問者49,983名でホッとしました次第です。それから、本日午後3時半過ぎ、49,999人目の方がご訪問され、その直後あいにくお子様のご相談が入りまして、気づかずにいましたら、午後4時半には50,001人目の方がご訪問されておりました。ここ数年、情けない言い訳ですが、本業の立て直しと新たなNPOの立ち上げで多忙を極め、この日誌も休みがちになり、当ホームページをご訪問頂いております皆様には大変失礼を致しました。しかしながら、これからも私自身の生き様の記録として、皆様には大変失礼ながら「つれづれなるままに」（本ページの旧タイトル名）書かせて頂こうと思っております。宜しくお付き合い下さい。

”胎内記憶” 2009.6.12(fri)

昨年のいつだったか、この日誌で心はいつから生まれるかの話の中で、名前は忘れましたが、スピリチュアルカウンセラー（だったかな？）の某氏が、テレビで「私は母親の胎内での記憶がある。」と話したのを聞いたという生徒の話を書いた記憶がありますが、この度また心理について話す機会があり、改めて心はいつ頃からできてくるかを調べておりましたら、胎内記憶研究の第一人者である池川明氏が、2004年京都で行われた赤ちゃん学会で発表した資料を探し当て、大変興味内容でしたので、今日はその話をさせていただきます。

2003年の夏と冬、長野県諏訪市・塩尻市の協力を得て、3601組の親子に胎内記憶に関する調査アンケートの結果の資料です。見ると、3人に1人の割合で胎内記憶・誕生記憶のある子供たちがいるのです。しかし、残りのうちに半分（即ち、全体の3人に1人）は「はっきりしない」という回答で、その理由は「子どもが話したがらない」「子どもに質問したことがない」「子どもの答えが不明確」であるから、この残りの2人に1人の中には、もしかしたら胎内記憶・誕生記憶を持っているが、話す機会がない子、もしくは未だ言葉でうまく伝えられないという子も含まれている可能性があり、実際に記憶を持っている子供た

ちはもっといるのではないかと考えられますね。

従って、この論文にも書かれております通り、科学的証拠はなくても、アンケートの子供たちの生の声から胎内記憶の存在が明らかになったように思います。しかし、その記憶も言葉を話し始める2,3歳がピークで4歳から急激に少なくなっていく、記憶があると回答した子ども428人中、最高齢の6歳はわずかに5人という結果でした。(故に、某氏の言は果たして本当なのでしょうか。)

このアンケートは単に胎内記憶の存在を知ることでなく、両親が胎児に話しかけていた方が、胎内記憶、誕生記憶とのその記憶率が高く、反対に「特に話しかけていなかった」方が、「記憶がない」という回答が「話しかけていた」方に比べて、圧倒的に多く、また、お母さんは赤ちゃんの誕生を心待ちにして頻繁にお腹に話しかけていたケースでは、「あったかかった」「たのしかった」といった、ポジティブな回答が多く、反対にお母さんが妊娠中赤ちゃんに余り話しかけなかった場合、「さみしかった」「早く出たかった」のような、ネガティブな回答が多くなっている、という大変大事な結果を示しています。即ち、母子相互の信頼関係の基盤がそこにあるように思います。そう、胎教は大事ですね。

## ” 遠距離恋愛学” 2009.6.10(wed)

現在週2日、心理学系統の小論文を指導しております、その題材を調べておりましたら、面白いブログ(カウンセリングルーム:Es Discovery)を見つけました。皆さんの中には既にご存じの方もおられるかもしれませんが、また、殆どが引用ですが、宜しくお付き合い下さい。勿論、その引用は、そのブログからです。

「人間関係の中で、相手の注意や好意を惹き付ける魅力のことを『対人魅力』と言います。人間の”好き・嫌い””好意・嫌悪”に大きな影響を与える対人魅力には、以下の4つの要因を考える事が出来る」そうです。

環境的要因……住居・学校・職場が近いなど、実際に会う機会の頻度が高かったり、言葉を交わす会話の場面が多かったりすると相手への好意が生まれやすくなり対人魅力が高まる。

外貌的要因……美しくて整った容姿とスタイル、愛嬌のある可愛らしい表情、恰好よくて端正な容姿とスタイルなど優れた外見は、相手の肯定的な注意関心を引き付けやすく対人魅力が高まる。

生理的要因……強い不安感を感じて落ち着かない時や恐怖を感じて誰かを頼りにしたい時、見知らぬ場所や困難な状況で孤独感を感じている時などには、誰かと一緒にいて不安を緩和したいという心理状態になり、一緒にいてくれる人の対人魅力が高まる。気分の悪い時よりも、気分の良い時のほうが、相手に対する好意が高まる傾向がある。

性格的要因……趣味や価値観が共通していたり、自分に対する行動や発言が共感的で支持的である場合などには、相手の性格に対する好意が起きやすくなり対人魅力が高まる。」(引用)

この一番目の「環境的要因による対人魅力の増大とは、簡単に言えば、近くて頻繁に出会い、話す機会がある人に対しては、(余ほど自分に対して不快感や抵抗感を抱かせる相手でない限りは) 好意的な態度や親近感が形成されやすいということです。」(引用) これは、社会心理学者、R. J. モアランドとR. B. ザイアンヌが実験的に証明した「単純接触仮説」によって説明することが出来るんですね。「その実験とは、女子学生グループに、一週間に一回、男子学生の写真を見せて、その男子学生に対する好意度の変化を調査するというものです。毎回、同じ人の写真を見せられたグループのほうが、毎回、色々な人の写真をバラバラに見せられたグループよりも、その男性に対する好意度が高くなるという結果が出ています。」(引用)

そこで、表題の「遠距離恋愛」。その「両者の最大の不安は、距離が離れていればいるほど、相手の実際の生活状況が分からないということ。恋愛関係の不安に限定して考えてみれば、職場や学校、私生活において自分以外の異性との接触がないだろうかという心配があり、新しい自分のいない環境で異性からの誘惑を受けて恋人の心変わり起きないだろうかという不安もあります。遠距離恋愛が始まって暫くの間は、精神的な愛情や信頼による強固な結びつきをお互いに感じていますから殆ど不安の高まりはないのですが、実際に会う頻度の低下、連絡する頻度の低下と結びついてくると、相手への疑念や不信が高まっていく可能性があります。遠距離恋愛で、物理的な距離が遠くなるという事は、繰り返し出会う機会が減るという事ですから、どちらかが、一緒に居て心地良い気持ちになるような異性と頻繁に出会う機会が増えてくると、その異性に自然と魅力を感じてしまう危険が生じてきます。初めは『自分には大切な恋人がいるのだから、絶対に他の異性とは親しくならない』という決意があっても、日常的に繰り返し出会うという”単純接触の効果”によって好意的態度が十分に形成されてしまった段階で、相手のほうから告白や誘惑を受けたりすると、遠距離の恋人が嫌いになったわけでもないのに、近くて頻繁に顔を合わせるその異性のほうに惹かれてしまうことがあります。」(引用)

確かにそうですよね。「しかし、全ての人が、遠距離の異性よりも近距離の異性を選ぶというわけではなく、『遠距離の恋人を思う信念の強度と恋人の信頼を裏切ることへの抵抗感が十分にあり、他の異性への好意や興味が強まるような接触機会を意図的に回避するような人』の場合には、長期間にわたる遠距離恋愛もうまく継続していくことが出来ると考えられます。」(引用) と。遠距離恋愛のお二人様、ご安心下さい。

### ”不登校・引きこもりの素因3” 2009.6.8(mon)

2002年の10月、志太地区の養護教諭の研修会で講演したレジメの一部の続きです。繰り返しますが、講演原稿のため、大変申し訳ありませんが、無断転用はご遠慮下さい。

不登校、怠業、非行の生徒のエゴグラム

交流分析では、人間の心には5つの自我状態、即ちCP:批判的な親の心—頑固親父、NP:保護的な親の心—世話好きおばさん、A合理的な大人の心—コンピューター人間、FC:

自由な子供の心—やんちゃ坊主、AC:順応した子供の心—いい子ぶりっ子があると考えており、その自我状態から給付されると想定される心的エネルギーの量を、グラフに表現したものがエゴグラムである。交流分析による心理カウンセリングを行う当フォーラムでは、各人の対応にはこのエゴグラムを活用する。これまで私共で対応してきました児童・生徒の中で、この交流分析を採用してから取りました児童・生徒のエゴグラムを分析すると、これまで述べてきたそれぞれの心的原因が見えてくる。

不登校時のエゴグラム（資料の不登校時のエゴグラムは割愛させていただきます）で述べてきた不登校の素因は、このエゴグラムに見事に表現されている。当フォーラムで現在対応し、あるいはこれまで対応してきた不登校生に多く見られるのは、NP（又はA）とACの値が高く、CPとFCが低いN型・自己否定、他者肯定型で、特にACが高いのはほぼ共通している。即ち、自分を抑えて相手からよく思われるように行動する。どちらかというと、おせっかいが高いNPと相まって、まさしく「いい子」なのである。劣等感・無力感を持ちやすく、本当の自分を出せません（というよりは、確立がしていない）。やりたいこともやれず、言いたいことも言えない傾向があるため、ストレスが溜まりやすいのも、自主性の未発達ゆえである。

また、Aが高い値を示し、物事を合理的に考え、あるいは、あれやこれやと考えすぎて人とするがために友達ができにくく（あるいは友達が離れていき）、友達の誤解を招きやすい。同じAが高くても、CPが最も高くNPが最も低い、学習態度が悪く節度なく小グループ化する女の子達が許せない。

ところが、同時にAC（いい子）も高いので、それを外部に向けて表出することができないために教室には行けず、好きな読書で平穏に過ごしたく当フォーラムに来る（勿論、他の生徒とは別教室）。しかし、当フォーラムだけでは学校の数人の話せる友達と全く会えないので、その関係は保ちたく学校の保健室なり、カウンセラー室に行く。

低いCPは、「反抗現象」の少なさを表す。時に高いCPを示し、同時に高いACを示す子供は、攻撃感情を内に向け「自分はみんなと違ってダメな人間なんだ」とか、自己嫌悪や自己処罰の形で処理する。あるいは、場合によっては不穏期の現れかもしれない。

さらに、低いFCは感情交流が下手なので、友達がなかなかできないことを示し、同時にNPも低い場合、他人との楽しく温かい関わりができず、引きこもっている状態を示す。同時にCPも高いと、攻撃感情は自己嫌悪をも越し、半ば自暴自棄にまで自分を追いやり、唯一の慰め(女子)にすがり、非行行動に走る男子もいた。

## ”不登校・引きこもりの素因2” 2009.6.7(sun)

2002年の10月、志太地区の養護教諭の研修会で講演したレジメの一部の続きです。繰り返しますが、講演原稿のため、大変申し訳ありませんが、無断転用はご遠慮下さい。

補足 不登校の起きる契機（平井氏の推論—「登校拒否児」より）

### 1) 自己の空しさ

思春期以後、特に中学生や高校生になると、学校生活やその他の社会生活の中で、自主性を求められる場が多くなる。「お前の考えはどうなんだ？」と聞かれて、「お母さんはこう言っていた」では済まされない。しかもそれまで親から与えられていた枠組み以外のことで判断をしなければならなくなる。女にもてる話やエッチな話、いたずらのことや校則に反することなど、思春期の子供達の話は多彩になる。ところが、不登校になるような子供は、そうした友達の言動についていけないし、さりとて自分の考えを主張できず、自己の空しさを感じようになる。そして、強い不安と劣等感をもち、心が重くなり、学校に行きたくなくなってしまう。これまでの「よい子」でははられなくなる。そのときに積極的に友達とぶつかればよいが、本当の意味での友達作りの能力が育っていないので、孤独になり、それが学校からの逃避に拍車をかけることになる。

## 2) 栄光が傷つく

不安があると、学校の勉強が手につかなくなる。したがって成績が下がり始める。ところが、過去が栄光に輝いていただけに、そして、それゆえに親や教師から高く評価されていただけに、非常に強い不安が子供を襲ってくる。初めは努力するが、結局は自主性に基づく意欲が育っていないから頑張りがきかない。そして、挫折感ばかりが強くなってしまふ。友達は頼りにならないし、親の援助も期待できない。急速に学校が重圧になる。

## ”不登校・引きこもりの素因1” 2009.6.6(sat)

確か2002年の10月だったと思います。ここ志太地区の養護教諭の研修会で講演したレジメを、昨日NPO日本インターネットスクール協会(JISO)の研修のために久しぶりに読んでみました。心理カウンセリングの勉強にと、こんな日誌でもお読み頂いていらっしゃる方々もおられますので、その極一部、「不登校・引きこもりの素因」について、そのレジメを数回連載してみようと思います。レジメのため、文体が常体表現になっておりますことは、ご容赦下さい。また、講演原稿のため、大変申し訳ありませんが、無断転用はご遠慮下さい。では、宜しくお付き合い下さい。

### 1. 不登校状態の主な原因

素因と起因(誘因)と継続因とが三つ巴に関係しあっている。起因(誘因)として、学校生活面で一友人をめぐる問題(いじめ、友達ができない)、学校の先生とうまくいかない、学業不振があり、本人の問題として一不安、緊張、無気力、更に家庭生活、とりわけ夫婦の不仲がある。また、継続因として、本人の問題—無気力・不安などの情緒的混乱、複合、あそび、非行、意図的拒否があげられる。

#### 1) 素因について

平井信義氏 「登校拒否児」より

不登校は、これまでの人格形成のゆがみを調整している状態である。ここで言う人格形成とは、自主性の発達が遅れていることや、欲望の統制の能力が低いことを言う。前者は

命令や干渉が多く、過保護であったことが原因であり、後者は子どもの欲望の言いなりになる溺愛の養育があったからである。

国分康孝氏 「子どもの心を育てるカウンセリング」より

今は人間関係が希薄な時代。子ども達は誘い合っても一緒に遊ぶ訳ではない。マンガを読む者、パソコンをいじっている者、テレビを見ている者などばらばら。こういう時代ゆえ、人とのふれあいとか連帯感を体験しないまま成長する。その結果、慢性の孤独感や人付き合いの未熟さゆえに自分の内にこもるようになる。不登校児童・生徒は仲間との関わり方を身につけていないことに由来している。阪神大震災の後、不登校児が登校を開始した例が多い。苦境の中を生き延びるためには人々は連帯せざるを得なかった。その体験が不登校児に人間関係を作り、それを保持するという感覚を学習させた。

浜北のメンタルクリニック・ダダの臨床心理士・大野木泉先生（8月24日静岡第1テレビが当NPO静岡県教育フォーラムの下田での自然体験合宿の様子を放映した「不登校の子ども達の夏休み」のニュースの中で）

「不登校の子達は、年令より幼い子が多くて、そのせいか対人関係がうまく持てない。元々人というものが信用できない子が多く、周りの人と安心して関われない。いつも緊張してビクビクして過ごす。従って、普通に生活しても人よりストレスが多くなり、どんどん力がなくなり、元気が無くなって不登校になっていくが多いと思う。」

a. 慢性型の不登校生の行動特徴—溺愛と過保護を受け、自主性の発達が遅れているので、自己中心的である。

- 1) わがままな傾向が強いので、友達ができにくい。
- 2) 幼い頃から友達と体力を使って遊んだ経験に乏しいから、体育がきらいである。
- 3) 困難に打ち勝つ意欲が養われていない（自己中心的—わがまま—である）から、学科に対して好き嫌いが強い。
- 4) 偏食が著しい。
- 5) 欲望を統制する能力が養われていないため物質的・金銭的欲望が強い。
- 6) つらいことは避け、特に体力を使うような作業は嫌う。

不登校のスタートは幼児期にあり、その中でも1～3歳の扱い方が重要です。

b. 急性型の不登校—思春期以後になって初めてその状態を表すが、それ以前には「まったく問題がなく」、むしろ「いい子」と評価されていた子に現れる。しかし、この「いい子」の評価が誤っていた。大人達が、その誤った「いい子」の枠組みの中に子供をはめ込んで、自主性の発達を妨げてしまったことにある。私達、親や教師は、この点を大いに反省し、対応を見直すべきである。

- 1) 親や先生の言うことをよく聞き、いたずらをして大人を困らせない、すなおな子だった。



2) けんかをせず、いつも仲がよい。

3) 親に対する「甘え」が少ない。甘えない子をしっかりとした「よい子」と評価している。

4) 学業成績がよい。

不登校の現れ方に慢性型と急性型に分けたが、それによって直し方を考えるには便利であるが、現実には混合型が多い。

#### ” 富士山静岡空港開港に思う ” 2009.6.4(thu)

22年の歳月と総事業費約1,900億円投じた「富士山静岡空港」が本日開港しました。ここ藤枝からは僅かに45分ほどで行ける非常に近い空港で、沖縄や北海道、また海外での青少年の交流合宿を行うNPO静岡県教育フォーラムとしては是非活用したいのですが、昼近くの出発が多く、初日の活動が十分行うことができず、結局今年は、羽田空港と成田空港を利用することになってしまいました。浜松から車で約1時間半、セントレア（中部国際空港）とほぼ同じ距離。沼津からも約2時間で、羽田空港とほぼ同じ距離。こうした状況で、県の需要予測では年間利用者138万人を見込んでいますが、特に静岡県の西部と東部の人達が果たしてどれだけ利用するのでしょうか？夕刊を読みますと、空港反対運動に約20年携わってこられた、立木問題の地権者・大井さんが、「これで誰もが空港そのもの問題に目を向けざるを得なくなった」と話されたようですが、開港したのだから、もうそうならないようにその対策を考えていかななくてはならないですね。まずは便の発着の時間割を検討して頂きたいです。このことは私がここで言わなくても、皆さんも既に感じてらっしゃることだと思いますが。

#### ” ジミー（幾米）作・絵「地下鉄」一小学館一 ” 2009.6.3(wed)

華流ドラマ「地下鉄（メトロ）の恋」の原作を読みました。帯に、盲目の少女が、あきらめと希望、悲しみと喜び、闇と光・・・交錯する様々な思いの中で繰り返される幸せを探す物語と紹介しています。絵本なんです。いい言葉に出会いました。「どっしりとした歩き方が私を安心させてくれる」一心理カウンセリング研修のブラインドウォークで感じました。「傷つくことが多いほど人は強くなれる」一そうだね。「世界は 出口のない 迷路」「どうどう巡りにさまようばかり」一盲目の少女だけではないよ、今世界中の人々、みんなもそう。「思い出の扉に 記憶の影が のびていく」一過去の思い出はそうなんだろうね。「希望をさがそう 暗闇を恐れずに 幸せは ほんの近くに 隠れているかもしれない」一うん、うん。「飛び立つ勇気があれば 苦しみから逃れることができる」「明日を信じる心があれば 道を見つけることができる」一いい言葉です。「つまずき ぶつかって やっと気づく 求めているだけでは 手に入らないのだと」「私は返ろう 私の世界に うわさ話など あとに残して」一この意味がちょっと。「この世と別れてもいいと思っていた 世界の美しさに気づかぬうちは」一世界の美しさを知ったんだ。でも、どうして知ったのかな？目の見えない少女が。ドラマで「心で美しさを感じる」と言ってたけど。「美

しい宮殿に悪意が燃え上がる」ーこれも、う～ん。「出会いのかけに たくさんの別れ」ー  
そうだね。「地下鉄の出口で 声をあげて泣いた すべてを 流し去る 雨の中で ぬれて  
しまった服も いつかは乾く」ー確かに。「昨日の悲しみは 忘れてしまった 忘れるくら  
いの 悲しみだった」ーう～ん。「たまには ゆっくりすわって 未来を語ろう とどまる  
ことを 責める人は ない けれど どこかにきっといるはずだ 地下鉄の出口で 私を  
待つ人が その人は 私にかさをさしかけ 手を握り、一緒に歩いてくれるだろう」「生き  
ていくことは いくつもの 驚き 生きていくことは いくつもの 喜び」「私も 探して  
みよう 心に輝き始めた かすかな光を」ーいい年になっても、こうした絵本には感動し  
ます。

#### ” 四谷大塚の全国統一テスト対策授業に思う。” 2009.5.30(sat)

表題のテストに挑戦する小学生は、様々ですね。自分の学年より上の勉強をしてるから  
と自信気に来て、今の学年の問題に戸惑う子。リズムカルに黙々と解き続けていた子が、  
突然手が止まり、暫くしてあれやこれやと余白に計算を書き始め、頷きながら再び解き続  
ける。問題は決して習ってない内容ではないから、弱音を吐かない。かと思えば、何やら  
つぶやきながら、解き続ける子。「ごめんね、みんなも勉強してるから、しゃべらないでや  
ってね。」うんと頷くも、暫くするとまたつぶやきが始まる。耳をそばだてると、「なんで  
解けないんだ。これをこうしてこうすれば、いいんだよなあ。えー！？」とぼそぼそ言っ  
てるんですね。国語になると、四谷大塚は登場人物の心情把握力を問う問題が多いだけに、  
子供たちの表情も、こちらの心情把握力を問われているみたいに面白い。日頃問題を解く  
ことばかりやっていて、じっくり読む込むことがないんだろうなあ、って感じました。

#### ”福岡県民の皆様、アビスパ福岡の故郷・藤枝市民と産みの苦しみを分かち合い、藤枝で芽 生えたサッカー文化を福岡で立派に咲かせるために、アビスパ福岡を皆様の市民球団とし て、立派に育て上げて下さい！” 2009.4.23(thu)

人の子であれ、Jリーグチームであれ、その育ての苦しきは、その産みの苦しみを経験し  
た者こそが、その苦しみが深い愛情となって克服できるものだと、30余年もの間、サッカ  
ーチームのみならず、非行、不登校、引きこもりといった様々な青少年達と向き合っ  
てきました私は強く感じております。しからば、今のアビスパ福岡存亡の危機に際し、大変失  
礼ながらまさにその産みの苦しみをご存じではないアビスパ福岡のスタッフの皆様、選手  
の皆様、ひいては 140 万人もの福岡県民の皆様、その苦しみを分かち合って頂き、ここ  
でなんとか皆様のお力でアビスパ福岡を生き返らせて頂きたく、藤枝の地で 20 年余の間  
このチームの虜になって応援してきた者として筆を執りました次第です。勿論、その「産  
みの苦しき」は、1982 年の中央防犯サッカー部創部以来、静岡県社会人サッカー中西リー  
グ 3 部から 1994 年の JFL まで、11 年もの長きに渡り各リーグを戦い抜いてきた数多くの  
選手達の想いであり、またその中でリーグ入りを直前にして菊川総監督（当時）が断腸の

思いで藤枝に残してきたまさしく JFL 戦士達の、またそうした選手達と共に、中央防犯サッカー部→藤枝ブルックス→福岡ブルックスを懸命に応援してきたご家族、社員の皆様、そして、実に多くの藤枝のサポーター達の、厚く熱い、且つ、どうすることもできない無念な想いがあります。その中には、無念の思いのまま天国に召され、声も出せずにじっと見守っている二人のサポーターがおります。創部 2 年目からこのチームを率いて、そうした数多くの人々の想いを背にずっしりと背負い、「藤枝で芽生えたサッカー文化を福岡に」と福岡に渡ってきた菊川先輩を始めとする藤枝ブルックスのスタッフ達の想いが、ここ福岡の地深くに葬りさせられるのを、私は黙って見てられないのです。ここで、福岡の皆さんに問い正したいのです。1993 年の、あの福岡県民 55 万人もの署名は何だったんですか？それは J リーグチームを育てたいという署名ではなかったのですか？それは、その産みの苦しみを分かち合い、藤枝で芽生えたサッカー文化を、福岡の地で大きく咲かせたいという署名ではなかったのですか？皆様、もう一度その時のことを思い起こして下さい。今のアビスパ福岡を生き返られる力は、あの福岡県民 55 万人もの熱い想いです。あの熱い想いは、あの「産みの苦しみ」をも必ず分かち合えるものと信じています。福岡の皆さん 55 万人もの熱い想いが本物だったら、どうか立ち上がって下さい！勿論、私は、私のみならず藤枝市民達は、本物だったと信じています。私は、福岡県民の皆様があ「産みの苦しみ」を分かち合うためには、遠く藤枝の地から私の知る限りのことはお伝え致します。そして、皆様、その苦しみを分かち合って頂き、アビスパ福岡を生き返らせるために、皆様と一緒に何ができるか、考えましょう！そして、行動しましょう！福岡県民の皆様、藤枝から福岡に渡ってきたスタッフ、各リーグを戦い抜いてきた数多くの選手達と藤枝市民の願いだった「藤枝で芽生えたサッカー文化」をここ福岡の地で立派に咲かせて下さい。宜しく願い申し上げます。

元藤枝ブルックス後援会広報担当役員

今日の日曜日 26 日、別件の仕事もあり、福岡に行きます。このことで福岡県民の皆様と語ってきます。福岡県民の皆様、宜しく願い致します。

### ” 年賀状に思う。” 2009.1.6(tue)

新年ももう 6 日。ここ数年、筆無精にかまけてこちらより年賀状を出すのを失礼しております。届く年賀状。年に 1 度のご挨拶も、私のことを気にかけてくれたと思うとホント嬉しい限りです。私が二十歳の時起こしたこの会社＝学習塾ゆえ、一番上の教え子達は私と僅かに二つ違い。ですから、彼ら、彼女たちの子供たちはもう 20 代。だから、彼らの孫達、即ち私からみれば、ひ孫達がいる現実。年を取ったなあと思いつつも、今日も教え子・N 君（弘前大学医学部生）が正月で帰って来ました、と尋ねて来てくれた。彼のお土産の青森の地酒を飲みつつ、年に一度の挨拶言葉を噛みしめております。

### ” 明けましておめでとうございます。” 2009.1.1(thu)

新年明けましておめでとうございます。旧年中は皆様には大変お世話になりました。本

日誌もこの数年私の忙しさにかまけて怠け気味にも関わらず、皆様には大変ご支持頂き感謝申し上げます。本年も宜しく願い申し上げます。